

重要湿地の保全に関する勉強会 について

御嵩町

重要湿地の保全に関する勉強会について

○ 趣 旨

重要湿地（東濃・中濃地域湿地群及び美佐野ハナノキ湿地群）について学ぶとともに、「湿地の保全方針」について意見交換を行う。

○ 目 的

- ・保全方針のために必要となる資源（人・モノ・予算）を整理する。
- ・JR東海に地元の思いを伝えるとともに、求める保全策を検討する。

○ 現 状

- ・重要湿地の指定には法的規制がなく、開発と保全の兼ね合いについて確認が必要。
- ・当該地の適切な保全措置や開発の許容範囲の考え方の整理が必要。
- ・湿地の保全には、適切な間伐等、里山としての整備が必要であり、手を加えないと経過とともに湿地は衰退してしまう懸念がある。

→上記3点を踏まえ、町民の皆様のご意見を聞き、折り合える点を模索したい。また、重要湿地はJR東海の置き場計画地以外も含むエリア全体のことであることから、勉強会としてリニアフォーラムとは別に行うもの。

美佐野ハナノキ湿地群の保全

JR東海の発生土置き場計画

計画の安全性・妥当性

JRから置場計画の詳細説明を聞き、有識者の助言を受けながら確認していく

計画と保全の両立・折り合い

湿地保全のためにJRに何を求めているのか、JRとしてどういった関わりが出来るのか

湿地の保全方針

湿地保全の方法や必要な対策を町民の皆様と一緒に考え、将来に亘り実現可能な保全策をまとめる

フォーラム

- 第1回：発生土置き場に係る経緯、発生土置き場とは
- 第2回：自然環境の保全、生活環境への影響
- 第3回：美佐野地区の地質、要対策土とは、ウラン鉱床
- 第4回：要対策土の封じ込め工法と盛土構造
- 第5回：水質のモニタリング、自然災害の備え、重要湿地（ハナノキ湿地群）の保全
- 第6回：第1～第5回フォーラムのまとめ、町と町民の意見交換（予定）

勉強会

保全内容の協議（町と町民）

- ・ どのような保全が必要となるのか、どのような姿にしていきたいのか（手を付けないことが保全になるわけではない）
- ・ 保全に必要な資源は
- ・ 町・町民だけで十分な保全が実現できるのか
- ・ JR東海に対して保全するために何を求めているのか、協力してほしい事

JR東海としての検討・回答

- ・ JR東海としてどういった関わり方が可能なのか
- ・ JR東海の考える保全計画

折り合い点

受入可否の判断へ

湿地保全策の策定

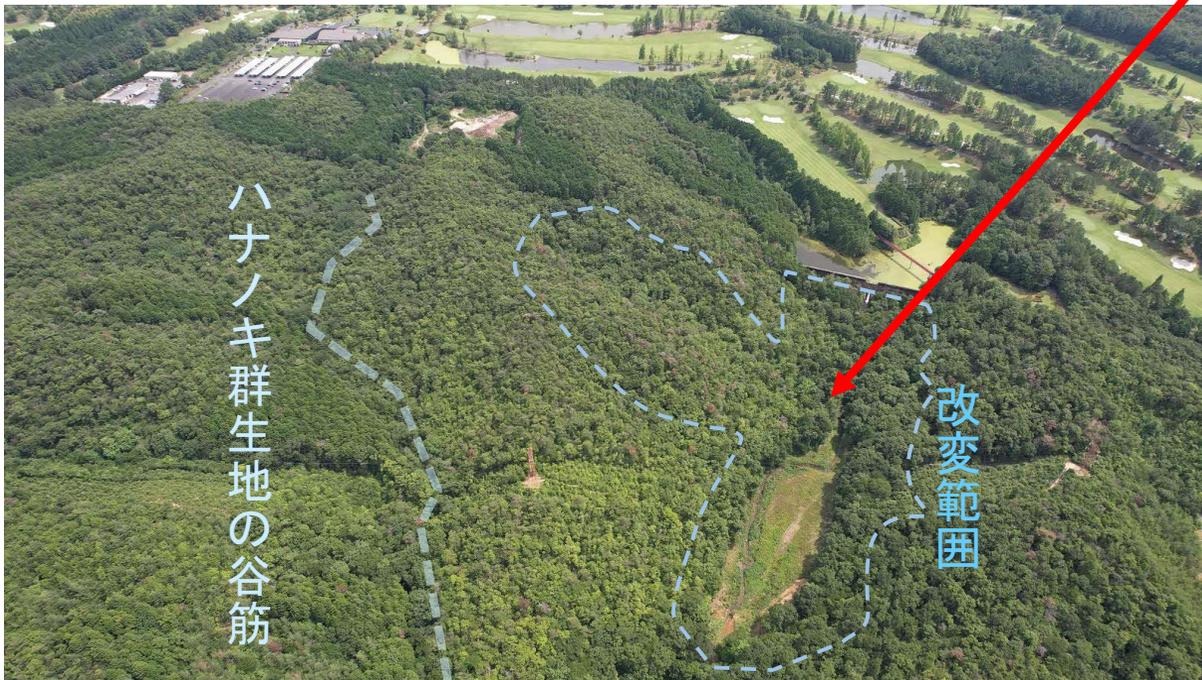
候補地 A の現地状況 (第2回フォーラム資料より)



国道21号線側（北側）より撮影



候補地Bの現地状況 (第2回フォーラム資料より)



国道21号線側 (北側) より撮影



ハナノキ群生地の現地状況 (第5回フォーラム資料より)



人手が入らなくなり、植生遷移が進行し、里山の生物が好む明るい環境が減少。
→ ハナノキやシデコブシの若木が育つことができない。



根元から倒れてしまった
ハナノキの成木

高木層まで育つことができた成木はいずれ倒れてしまう。
→ 若木が育つ環境を整備し、更新を促進することが重要。

ハナノキ群生地の現地状況 (第2回フォーラム資料より)



国道21号線側 (北側) より撮影

